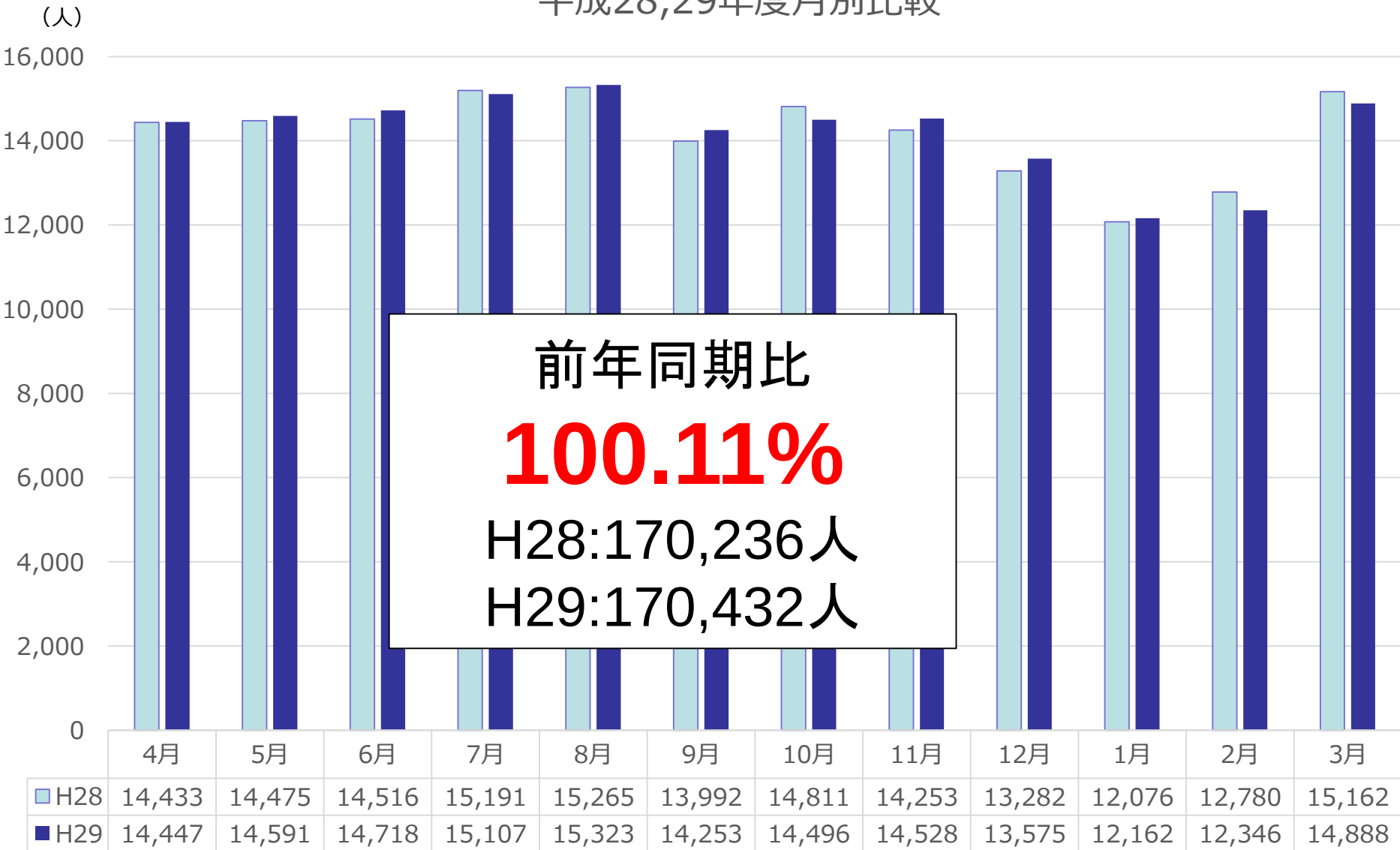


平成30年度 第1回 桑名市地域公共交通会議

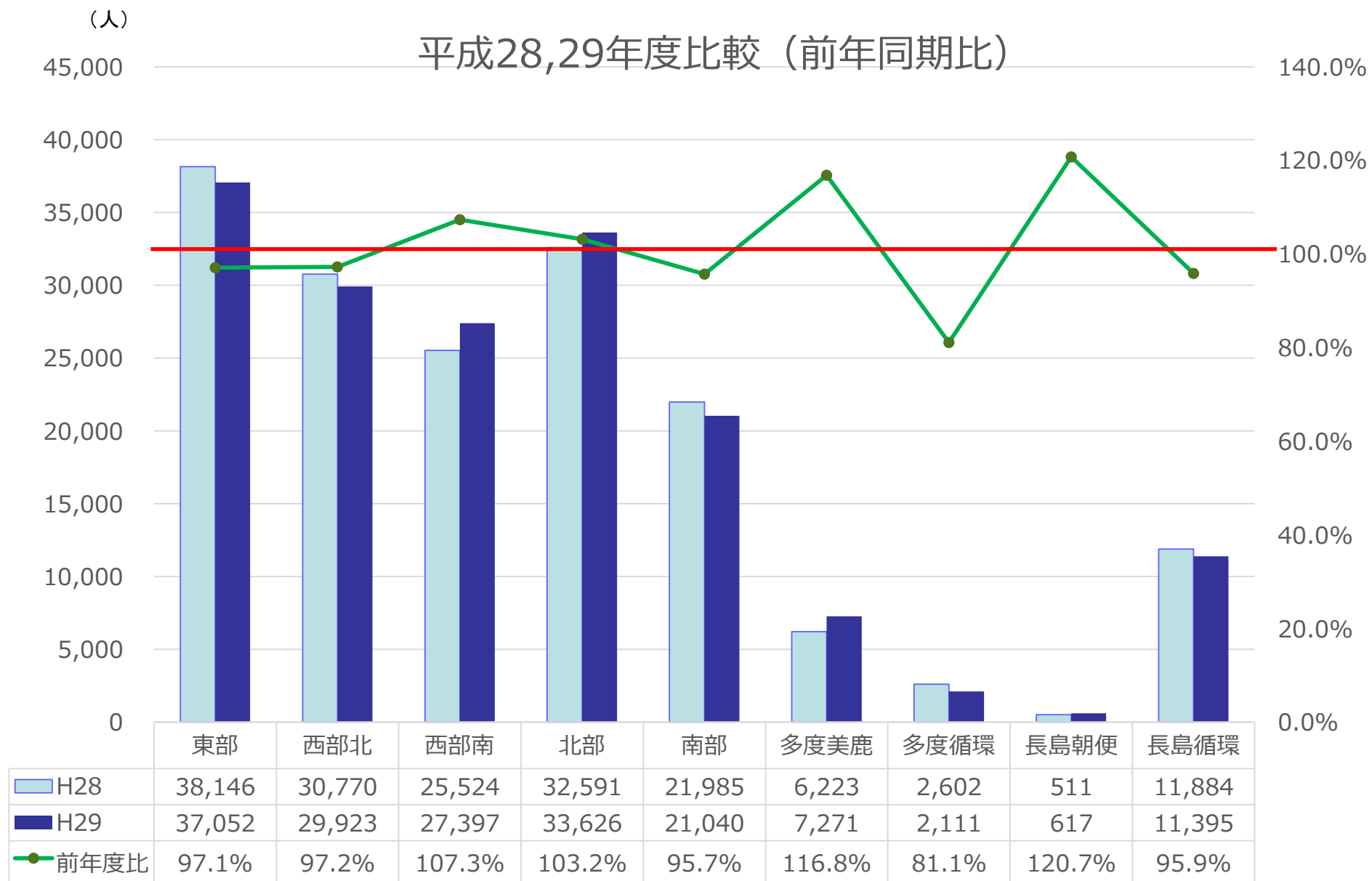
平成30年4月16日（月） 10：00 ～
桑名市役所

平成29年度コミュニティバスの利用状況

平成28,29年度月別比較



平成29年度ルート別の利用状況

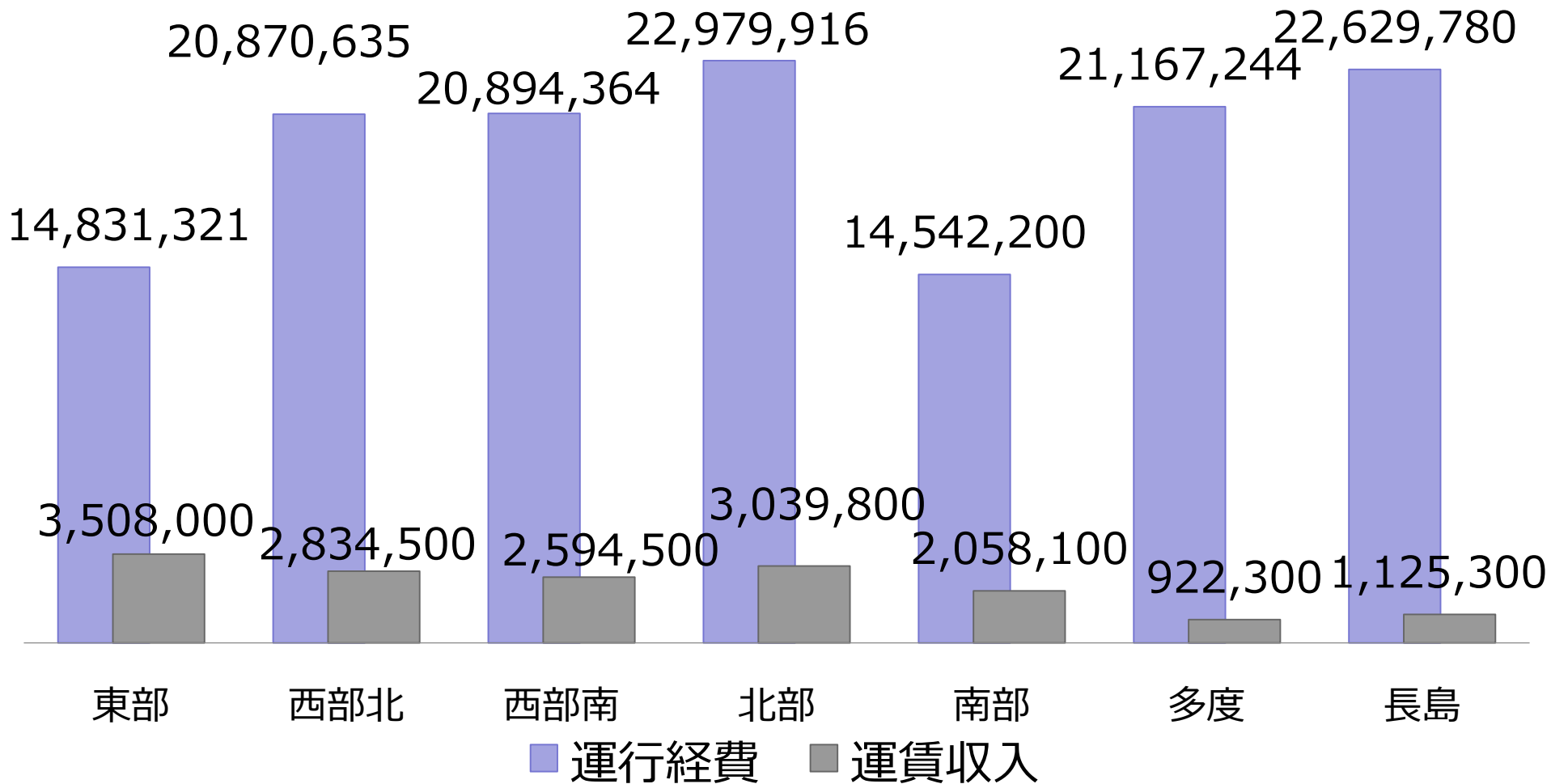


平成29年度ルート別の収支状況

運行経費 137,915,460円 運賃収入 16,082,500円

平均収支率 11.66%

(円)



導入の背景

長島ルート朝便においては、1便あたりの利用者数が少なく、1便の乗客が0人（空車状態）で運行することが年間で72日（平成29年度実績）であることから、バス形態での運行ではなく、デマンド乗合タクシーの形態において、試験運行を行い、桑名市内の持続可能な公共交通の維持を図るために実施する。

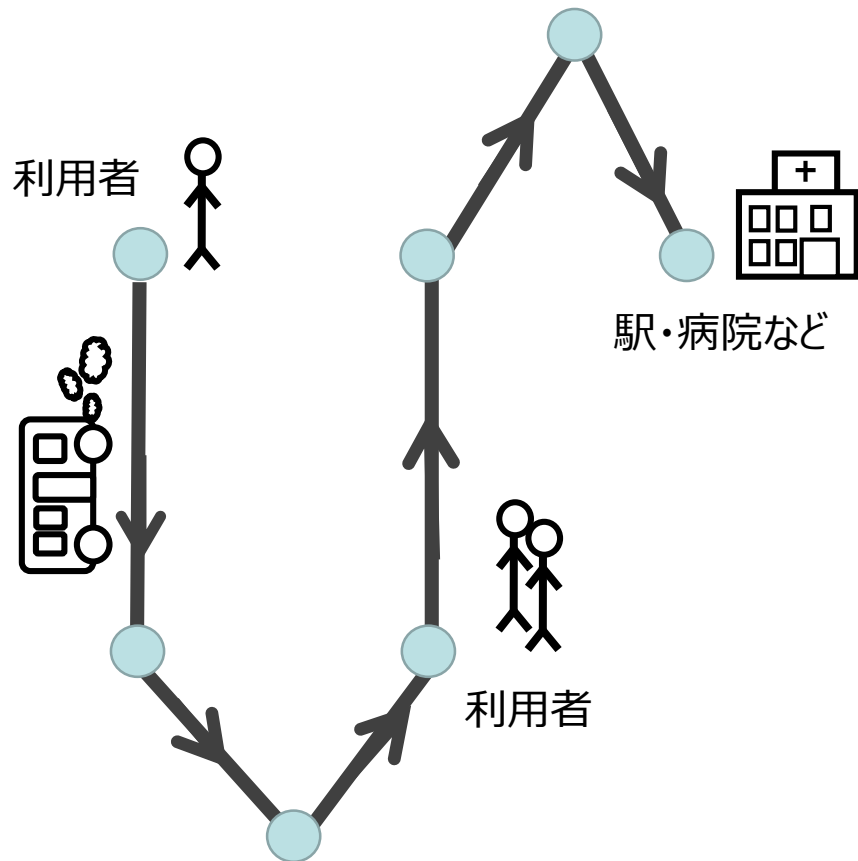
デマンド乗合タクシーとは

デマンド乗合タクシーとは利用者から予約があった場合のみ、バス停を利用し、タクシー車両によって運行を行う運行形態を指す。

従来の路線バス（定時定路線バス）とは異なり、予約がなかった場合は運行を行わないため利用者が少ない路線においては効率的かつ低廉な運行が可能になる。

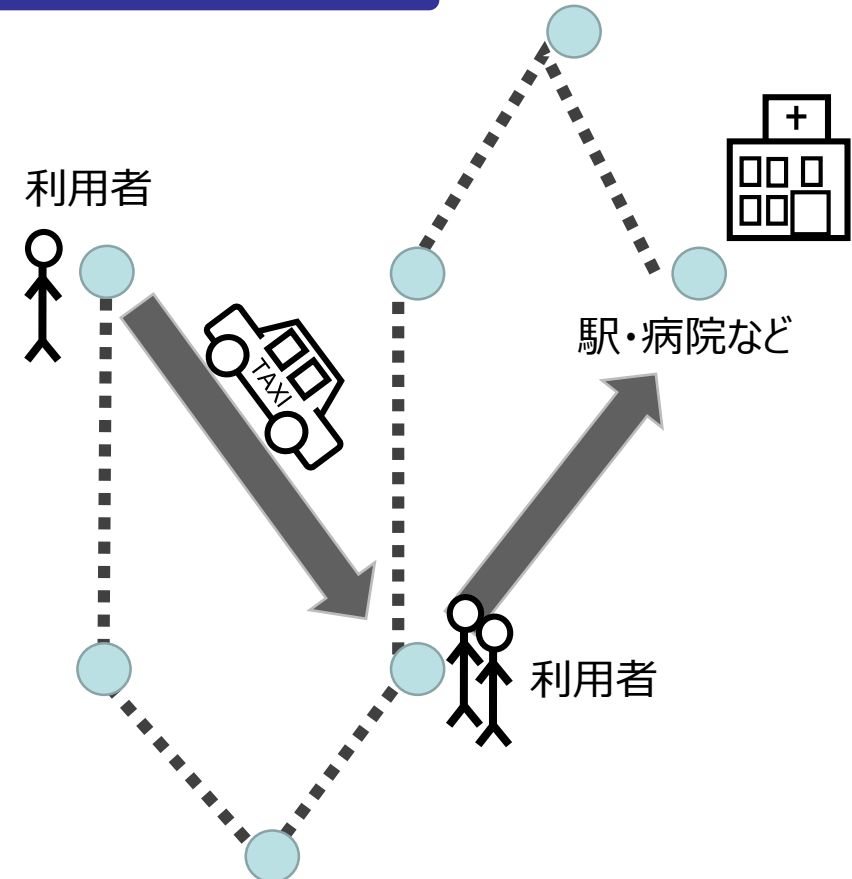
また、運行方式によっては予約がないバス停に停車を行わず、最短距離で目的地まで運行ができるため、乗車時間が短くなるなどのメリットがある。

従来の乗合バス



利用者がいてもいなくても決まったルートを行くため一定の利用者がいない場合は効率が悪い

デマンド乗合タクシー



予約があった場合のみ運行し、予約がないバス停は飛ばして運行するため効率が良い

試験運行実施内容	
試験運行期間	平成30年7月1日～平成31年3月31日
対象路線	長島ルート朝便
運行方式	自由路線型（予約のないバス停は飛ばして運行）
運行ダイヤ	固定ダイヤ型（長島駅の着時刻を定め、予約に応じて決定）
乗降方法	バス停の設置箇所のみで乗降可能
運行時間帯	7:30～8:30
運行日	週6日（月曜日から土曜日まで） 年末年始（12月29日から1月3日まで）は運休
乗降場所	長島ルート朝便のバス停（全23か所）
予約方法	タクシー事業者の予約センターに電話で予約
予約期限	1時間前までの受付
運賃	1乗車200円
周知方法	桑名市広報誌・市ホームページ・長島ルート各バス停への掲示 コミュニティバス車内でのチラシ掲示及び配布

①利用者の少ないバス停の休止について

実施概要

長島ルートの循環便においては、一部利用が極端に少ないバス停が存在する。
運用上、効率的な運行を行うため、一定の基準に基づき、該当するバス停を休止し、それにともないルートを改正することで運行時間の短縮を狙う。

基準について

- 1週間のうち、乗降客数が1人未満のバス停については休止を検討する
- バス停周辺地域において1週間のライフサイクルの中にバスを利用する習慣が希薄であると予想し、周辺地域の需要が高まることが見込まれれば再度運行を検討する
 - 利用の少ないバス停・ルートの見直しを行い、利用が見込める地域への振替えや効率的な運行を行い、利用者及び収益の確保に努め、持続可能な運行を目指す

①利用者の少ないバス停の休止について

基準に該当するバス停

ルート	バス停	1週間の利用者数	対応
北回り	防災コミュニティセンター	0.3人	休止
	平方神社前	0.0人	休止
	千倉東名阪下	0.1人	休止
	杉江集会所	0.7人	ルート上のため継続
	間々	0.3人	ルート上のため継続
南回り	第2分団消防車庫前	0.0人	ルート上のため継続
	西福豊	0.6人	ルート上のため継続
	教育集会所	0.3人	休止

改正ルート案



①利用者の少ないバス停の休止について

改正ルート案



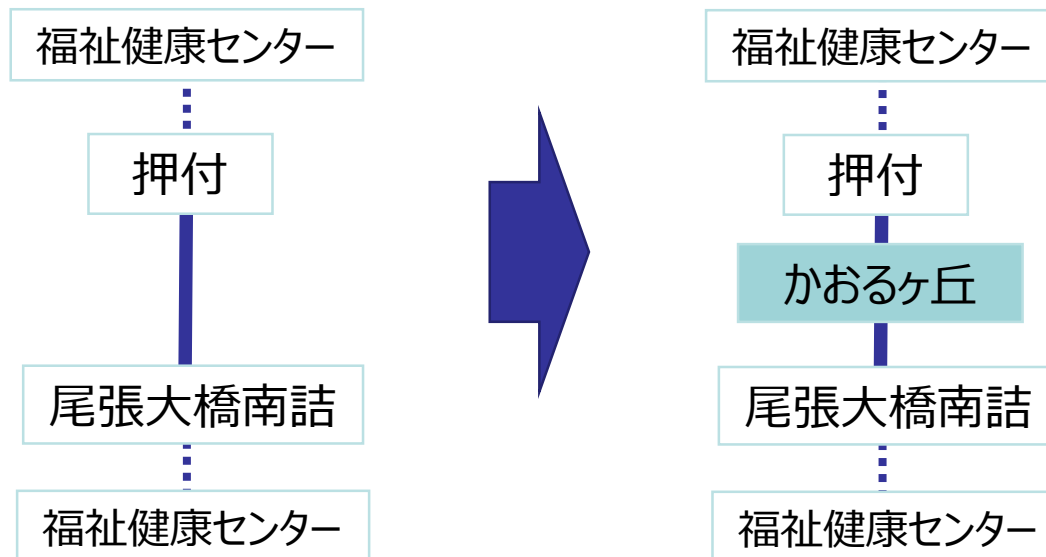
②長島町かおるヶ丘団地へのコミュニティバス乗入れについて

経緯

長島町かおるヶ丘地区において149世帯398名が自治会に所属しており、そのうちの100世帯は60歳以上の方々が居住。

かおるヶ丘自治会内の老人会170名余りから、地区内に公共交通手段がなく、長島町内各所の施設に行くことができないため、コミュニティバスの町内の運行要望があり、自治会からも要望書を受領したため、乗入れを行うものである

ルート新旧対比



運行ルート



経緯

桑名市コミュニティバス全路線の利用傾向として、平日での利用に比べ、日曜日における乗車利用が少なくなっている。

日曜日の利用者数が少ない要因としては、病院の多くが休院のため、通院目的の利用がなくなるほか、同居人がいる世帯においては、家族による送迎や外出があることなどが考えられる。

人件費・車両の更新等で運行委託経費も増額し、運転士の人材確保など様々な課題がある中、より持続可能な公共交通を維持していくため、利用が少ない日曜日を運休し、バス運行を維持していく。

曜日別利用者数(H29年度)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	合計
人数 (人)	23,817	28,183	25,188	25,435	27,430	22,361	18,018	170,432
割合 (%)	14.0	16.5	14.8	14.9	16.1	13.1	10.6	100.0

曜日別利用者数(H29年度)

